

あかしん

プランニング・デザイン・総合印刷・オンデマンドデジタル印刷・可変データ印刷
大判ポスター出力・データベース・PDF高速データ変換・CD-ROM制作
3D・CGアニメーション企画・制作



半田中央印刷株式会社

〒475-0032 半田市潮干町1番地の21
TEL <0569> 29-2525 (代) FAX <0569> 29-4500
E-mail: main@handa-cp.co.jp http://www.handa-cp.co.jp

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ http://www.akai-shinbunten.net <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861 企画・制作：株式会社 新聞ビル

元気のでてくる“ことばたち” (130)

村上信夫 (アナウンサー)



元気がいい顔をしていて、中山隧道という手掘りのトンネルがある。住民が手掘りで貫通させたものでは日本一長い。戦前から戦後にかけて、のべ16年で貫通した全長877メートルのトンネルだ。

「山古志の人々はいい顔をしている。いるべきところにいるという自信と誇りがあるからなんだろうなあ。」
本当の日本人がいる
山古志が長岡市に合併する前に、山古志の風土をテーマに新たな映画を撮ろうとしていた。その矢先に、中越大

針の穴から砂漠を見渡す

映画監督 橋本信一さん

新潟県長岡市の山古志と言えば、牛の角突きや錦鯉で知られている。その山古志が、2004年10月23日、新潟県中越地方を襲った中越大地震で、壊滅的な被害を受けた。その山古志の住民たちが地域を復興する歩みを追ったドキュメンタリー映画『1000年の山古志』が、震災5年の今年、完成した。映画のメガホンを取ったのが、映画監督の橋本信一さんだ。カンヌで2回も最高賞を取った名匠、今村昌平監督の愛弟子である。

山古志の絆

橋本さんは、地震の2週間後、長岡市の避難所に見舞いに行った時のエピソードから語り始めた。避難所には衛立もなく、多くの人たちが着の身着のまま避難していた。これでは着替えも出来ないだろうと、「避難所に衝立を置いたら」と言うと、怒り出した人がいた。「そんなことをしたら皆の顔が見えなくなる。皆がいるから生きていられる」「住民の絆の強さを改めて実感した。」
もともと、山古志と関わりが来たのは、5年前、『掘るまいか』というドキュメンタリー映画の制作を通して

「トンネルには不思議な力があった。砂漠で針を見つければ至難の技。でも針の穴からは砂漠を見渡せる。針の穴のような小さなトンネルを通して、人間の勇気や知恵を、精神風土を描いた。」
映画の撮影で、何回も山古志に足を運ぶうち、すっかり人や風景に魅せら

村上信夫プロフィール
NHK エグゼクティブアナウンサー
1953年、京都生まれ。
明治学院大学卒業後、1977年、NHK 入局。
富山、山口、名古屋、東京、大阪に勤務。
現在は、『ラジオビタミン』担当。(ラジオ第一 8:30 ~ 11:50)
これまで、『おはよう日本』『ニュース7』『育児カレンダー』などを担当。
教育や育児に関する問題に関心を持ち続け、横浜市で父親たちの社会活動グループ『おやじの腕まくり』を結成。
趣味は、将棋。
著書に『元気のでてくることばたち!』(近代文芸社)
『おやじの腕まくり』(JULA 出版局)『いのちの対話 (共著)』(集英社)『いのちとユーモア (共著)』(集英社)



俳画 / イネ・セイミ

大地震で、山古志の4割の住宅が全壊、水没した集落もあった。住民全員が避難勧告を受け、避難所暮らし、仮設住宅暮らしを強いられた。田んぼや鯉の養殖池の底が抜け、おびただしい被害が出た。闘牛や肉牛も、倒れた牛舎の下敷きとなった。まさしく仮死状態になった山古志で、住民たちは人生の岐路に立たされた。生き方の選択と復活への努力があった。

フルト奏者 イネ・セイミ
一音一音
いとおしむように
奏でる音色
貴方に幸せを
届けます

コンサート依頼はこちらへ
☎0563(32)0583
(セイミオフィス)

俳画教室開講中
常滑屋
とき 月二回 第一・第三金曜日
午後一時~三時
会費 一回二、二五〇円(三ヶ月分前納制)
問合せ ☎〇五六九(三五)〇四七〇

フルト奏者として活躍中。俳画家。絵画を幼少より日展画家の(故)川村行雄氏に師事。俳画を華道彩生会家元(故)村松一平氏に師事。俳画の描法をもとに、少女猫等を独自のやさしいタッチで描いている。個展多数。

好評発売中

村上信夫
言葉なかつた
ありがとう

「1000年」にその思いが込められている。1000年、命のリレーが、きちんと行われてきた。手掘りの隧道を完成させた根気とエネルギーが、復興にも役立った。

地震から2週間後、子ども全員をへりに乗せて、故郷の惨状を目の当たりにさせた。まるで、谷に子を突き落とす獅子のように、強く生きるため、先人から受け継いだ生活哲学を実践したので。

山古志には、本当の日本人がいる。本当の日本人が残っている。

山古志の人々の深く結ばれた絆を描いた映画は、日本で失われつつある「人間の絆」を見つめ直すきっかけを与えてくれている。

今年で、中越大地震から丸5年になる。橋本さんは、地震の起きた午後5時56分から、全国各地で『1000年の山古志』の同時上映が出来ないものかと模索している。実現に向けて、大いに協力したい。

愛知県立大学名誉教授

山田正敏

『バリ島行ったり来たり』(20)

《伝統的な

バリ島の村に住む》⑦

——鬱病をも癒した、

田舎の生活環境②——

《バリ島の気候は——
高温多湿といっけれど》

バリ島の気候は、どのガイド・ブックスを見ても、九〇年代初頭から続々出版され出した研究者の著書を読んできて、判で押したように「熱帯性湿潤気候」（高温多湿）と書かれている。

私も地図を一瞥するまでもなく、赤道直下の南半球の小島（南緯八度三〇分〜五〇分）であれば、高温多湿の気候は、当然のこととして、あまり気にかけることもなく、それなりの旅の準備をして、調査に出掛けた。もう二〇年近くも、前のことである。

調査のご挨拶とお礼の一品も迷うことなく、高温多湿の気候に生活する、島の人々の日常生活に役立つように、「タオルの手拭い」を多数用意した。

海外旅行で留意することの一つは、荷物の重量制限である。それに付けても、「タオル手拭い」は軽く・嵩ばらないし、絶好の品選びと、自己満足の思いで旅立った。

案の定——、学校調査を行ったウ



ブドウ村、プリアタン村は、早朝から高温多湿——。とくに、アンケートの回収の為に、日中各学校を巡り歩いたおりは、通訳兼案内人のKさんと私は、帽子はかぶっていたものの、額のみならず、全身汗まみれ——。お礼に用意した「タオル手拭い」は、私たちにも大助かりの品だった。

この実体験から、研究者の書物の「バリ島の気候は、高温多湿」という指摘にはいやおうなしに納得させられた。

のちほど気づいたことですが、学校巡りの道すがら、観光客は別にして、この暑い日中には、村人の男性誰れ一人とも顔を会わせることはなかった。知人に尋ねてみると、男性は、庭の木陰や屋内の涼しい処で、絵を描いたり、楽器を楽しんだり、ゆったり昼寝をしたり——、という生活。農作業は、早朝涼しい時間帯の「朝めし前」に終える——との話。

後日、バリ絵の画家であり、プリアタン村の来日公演の経験もある著名な歌舞団のガムラン演奏者でもあるOさんのお宅を訪問した。

日の出まもない早朝に、クワを担ぎ、籠を背負い、片手に椰子の実をかかえ、裏庭の椰子の林からもう帰ってこられた。朝めし前の涼しい朝である。

軒先に積み上げられた椰子の実を、ナタで割り、分厚い繊維質の皮を剥ぎ、中の白いココナツの層を取り

出し、容器に磨り下ろし、ココナツ・ミルクを絞り出す。奥さんの朝食準備のお手伝いである。

これが、この村の男性の朝の仕事の定番だという。体力・エネルギーを必要とする作業は、涼しい内に、男の仕事——。汗をかいたら、マンデー（水浴）。

この高温多湿の気候に即した、村人の「巧みな生活ぶり」には、しばし感服させられた。

日本からのタオル手拭いを、お札に差し上げた。「トゥリマ カシ（ありがとう）」「トゥリマ カシ スカリ（大変ありがとう）」と、丁寧な謝辞を重ねて頂き、「高温多湿」の蒸し暑さもどこへやら、爽快な気分浸って帰路についた。

ちなみにウブドウ・プリアタン村の標高は約二〇〇米。

バリ島の気候を、「熱帯性湿潤気候」と紹介する研究者の著述は、「南海岸線に近い州都テンパサールの気温は、年間をとおして最高が三〇℃前後、最低が二三℃前後、年間降水量は約二〇〇ミリ前後である。このように概して高温多湿の気候が続く」と、州都テンパサールの気候データをもとに、バリ島の気候を「熱帯性湿潤気候」と紹介している。

これも一つの紹介の手法かも知れない。事実、東南アジア随一の国際

観光地バリ島を訪れる観光客や要人の多くが訪れる高級ホテルや国際会議場などの施設は、国の観光開発政策の「多くのバリ島民の日常生活を乱さない」という理念のもとに、州都テンパサールや隣接する南部ヌサドゥア地区の半島に集中している。

また時を同じくして、オーストラリアの若者を先達に、海外の若者によって、波の高いインド洋沿岸の貧しい漁村クタ・レギャン地区には、国際的な「サーファー・ビーチランド」に変わり、ホテルも林立している。

これらの地域に共通するバリ島国際観光地の気候は、テンパサール市同様に、典型的な「高温多湿」。国際ホテルや会議場などの施設は、言うまでもなく全館冷房完備——。そこには「人工的な快適さ」はあっても、「バリ島天然の自然環境」は、ほとんどない。

ちなみに、この地域の標高は、テンパサール市五米〜三十五米。ヌサドゥア地区、五ツ星級のホテルと併設されている国際会議場は、全てビーチ沿いに建てられ、プライベートル・ビーチを持つホテル群である。この地区の標高は、内陸でも高く四〜五米。クタビーチは、一米内外海岸に建てられた「ウングラライ国際空港」の滑走路も一〜四米。

《標高にこだわって 多くのバリ島民の 居住地》をみる》

(10号地図参照)

私が勝手に「快適な気候の村」と銘うった私たちが滞在する村は、今までもたびたび書き綴ってきたように、空港から一時間半ほど北西に駆け上がったバトゥカウ山麓の農村（標高四四八〜五一八米）。この道程で空気が澄んで涼しくなる地点は、

いつも決まっている。島内唯一の渓谷沿いの温泉を過ぎた地点（標高約三二〇米）。北欧の観光客も時々訪れると言う。

私が妻の紹介で訪れ、「快適な気候」を体感した、多くのバリ島民の居住地の標高を改めて調べてみると共通して全て三〇〇〜六、七〇〇米の範囲内。共に古い歴史をもった地域である。

10世紀〜14世紀に栄えた聖なる泉の湧き寺テイルタエンプル寺院、山の岩肌に大きく彫刻された王家の墓が並ぶ、グヌンカウイ寺院は、今も多くの島民の崇拜的になっている。

この二つの古寺のあるタンパクシン村（標高五一八〜五四六米）の高台には、故スハルト大統領の別荘が建てられ、バリ島の「自然環境の快適さ」のシンボルになっている。バリ島民の大多数は、このように、「快適な気候」という「自然の恵み」にムラガッテ、生き活きと生活を楽しんでいる。

私も寺院のおみやげとして、老人や若者が彫刻していた、椰子の実のランプシエイドを入手し、バリ島民の楽しみのお裾分けに預かり、「快適な気分」に今だに浸っている。



古代伝説が彫り込められている



青空

各種宴会予約
承ります。(40名迄)

常滑市神明町4丁目
301番地
TEL 0569-44-1212
http://2626aозora.com/

インガイ
磯谷式力学療法
各種整体オステオパシー

◆受付時間◆
午前 7:00~12:00
午後 2:00~ 7:00
休日 第2・4日曜日

予約制 電話予約してからご来館下さい
☎(0569)35-3207
常滑市原松町2丁目191-2(常滑幼稚園うら)

命哲館

信用と技術の店

木下クリーニング

武豊町桜ヶ丘3-20
TEL(0569)73-0050

常滑焼 全国卸から贈答品・記念品・小売まで

ヤマタネ

招き猫が目印です!
コーヒー、お茶の
無料サービス!

3mの

常滑市奥条7丁目56番地
ピアゴ南500m(奥条7丁目交差点角)
☎(0569)35-3233(代表)
35-2789(夜間)
URL http://www.tac-net.ne.jp/~yamatane/

日干し・水洗いのできる羽ふとん

睡眠館 **綿國**

睡眠環境アドバイザー 長田國元

☎0120-35-2593
〒479-0827 常滑市保示町1-135
TEL0569-35-2593 定休日 月曜日

趣味の呉服・婦人洋品・ギフト
常時 振袖、訪問着などを
豊富に取りそろえています。

きものサロン **系長**

常滑市本町2丁目211番地
〈農協本店東50m入る〉
TEL(0569)35-2069

花の店

花 菊

常滑市樽水町1丁目70番地(朝市前)
TEL(0569)34-4107
FAX(0569)34-8216

Thank you for your everything
and I appreciate you

for you

For you seal
since 1980 Co., Ltd.

**宝友シール
株式会社**

〒479-0827 愛知県常滑市保示町1-130
TEL 0569-34-6038
FAX 0569-34-7017

配達・設置・接続・説明のフルサービス付
満足を売る店

とこでん

(有)常滑電化センター

常滑市栄町
1丁目91番地
☎(0569)
34-6600

フョトルムノバク
NOBAK

武豊町祠峯2丁目55番地
TEL(0569)73-8910
FAX(0569)73-9010

民間車検工場

久野モーター

常滑市港町5丁目22番地
TEL42-1354(店)43-1138(工場)

おいしくて、ヘルシー
おとうふ料理

まめ そろ
豆蔵
とこなめ店

月替わり定食、ランチ等
石川のおとうふ、販売しています(まるふく内)
おいしいぜんざい始めました
営業時間 AM8:00~PM5:00
年中無休、ランチ等予約承ります
常滑焼 (株)まるふく内
TEL 0569-35-7228

さわやかライフを応援します。
ドラッグつるみ屋

タルミ店 常滑市樽水町1-141-2
TEL(0569)35-6628
willセラ店 常滑市鯉江本町5-168-2
TEL(0569)34-8815
鬼崎店 常滑市新田町5-81
TEL(0569)43-7778

緑ある、あなたの住まいを
明るく、美しく

庭甲造園

〒479-0828 愛知県常滑市市場町3-16
TEL・FAX0569-35-2340

洋食亭
Redoté

常滑市かじま台1-154
TEL0569-35-4736
営業/AM9時~PM9時
年中無休

和洋酒・贈答品の
清左商店

常滑市市場町6-102
TEL(0569)35-2302

— 年中無休でお手伝い。 —

改元屋

改元屋本店 常滑西小学校北
☎0569-35-2356
《姉妹店》
パニパニ大高店 イオン大高SC3F
メリービーンズ八事店 ジャスコシティ八事3F
メリービーンズ半田店 ジャスコ半田店1F
メリービーンズ有松店 イオン有松SC2F

誠意をこめて安心のお手伝い
年中無休・24時間体制

(有)大阪屋葬祭

常滑ホール / 鬼崎ホール / 阿久比ホール

シクシク
TEL<0569>35-4949 (代表)
FAX 35-4911

各種自動車販売
車検整備・一般整備
钣金・自動車保険

磯村オート

常滑市奥条七丁目47番地
☎34-6664

知多の
新鮮たまご
発酵ケイフン

(有) **知多エッグ**

知多郡武豊二ツ峯380
TEL0569-73-6341

•味噌・たまり販売 武蔵屋
•カフェスペース
•ガラスエッセギャラリー
体験教室
•硝子工房・ぱん工房

ぎや
らり
い
夢乃蔵
たけとよ

営業時間/AM8:30~PM5:30
定休日/月曜日
〒470-2347 愛知県知多郡武豊町道崎55
TEL & FAX.0569-73-7883
URL http://www.taketoyo-sci.or.jp/yumenokura/index.html

常滑大鳥町店
〒479-0842 常滑市大鳥町5丁目27番
TEL.0569-34-8311

常滑インター店
〒479-0056 常滑市字椎垂木8番地
TEL.0569-36-3570

塗装の
有限会社 **スギオ**

ガラス用フィルム施工店

常滑市栄町7-73
TEL0569-34-8286
FAX0569-34-8340



ギャラリー 雄
散歩道店
やきもの散歩道Aコース⑩と⑪の間
TEL:080-6960-3811

縁集工房 和
やきもの散歩道Aコース⑩番
TEL:080-5100-1591

とこなめ焼と
にぎまつ
焼きもちのお店

冷菓・笹団子はいかがですか。

本店(陶磁器会館すぐ、無休) セラモール店(無休)
☎0569-35-2644 ☎0569-43-7123

見世 広場 工房
SHOP PLAZA LABO

作り手と使い手を結ぶ工芸の森
方円館

画廊 市場
GALLERY MARKET

〒479-0003 愛知県常滑市金山字上砂原123 とこなめ焼卸団地
TEL0569-43-7101 FAX0569-43-7104

**知多四国めぐり
関連書籍
販売しています**

プランニング・デザイン・総合印刷・オンデマンドデジタル印刷・
可変データ印刷PDF高速データ変換・
CD-ROM作成・Data Base・CG制作

半田中央印刷株式会社
〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21
TEL(0569)29-2525(代)
FAX(0569)29-4500
URL http://www.handa-cp.co.jp
E-mail main@handa-cp.co.jp

グループ会社
フリ・テック株式会社 ● フリ・テックメディア株式会社 ● トーヨー印刷株式会社

南知多内海 海を見ながらお食事を!!

会席料理・お宿 **しぼりや**

〒470-3321 愛知県知多郡南知多町大字内海字小榎40
TEL.(0569)62-1170 FAX.(0569)62-2728
E-mail:siboriya@na2.synnet.or.jp URL:http://www.nande.com/siboriya/

タオル・繊維製品 総合卸
**名城商事
株式会社**

名古屋市中川区松葉町4丁目57番地
TEL(052)362-1531(代)

メンズ カット パーマ
& レディース カット パーマ
ロット巻コンクール優勝の店

美容
サロンド東京

常滑市市場町6丁目105 TEL0569-34-6508
定休日/毎週月曜・火曜 FAX0569-34-6508

みちや 弁当屋

〒479-0043 常滑市古社23-6
ご注文・ご相談ぜひお電話下さい
TEL&FAX 0569-34-8881

どろみ屋酒店オリジナルギフト
常滑焼の盃と知多の生酒詰合せ

知多の蔵元6蔵生酒

蔵めぐり(盃入)6,000円
クール便で地方発送承ります。TEL0569(34)8820

酒類・贈答品/FAX・フリーダイヤルをご利用下さい。

初老酒店
常滑市本町3-73 電話35-2218 FAX34-9518 ☎0120-2218-09

仕出し 御料理
魚善
常滑市保示町一丁目97番地
TEL35-2056 FAX34-8892

ISHIHARA
Quality Foods

(株)イシハラフード・フーディー店
☎(0569)35-5355

**CAFÉ TERIA
SIDE PARK**
サイドパーク

営業時間/AM7:00~PM7:00
武豊町祠峯(アオキスーパー南隣)
☎(0569)73-6548

電動ロクロコース始めました。親切、丁寧に指導いたします。

まるふく

【施設のご案内】
まるふく
1F●やきもの展示即売
●「おとうふ工房いしかわ」
とうふ、パン、きらずあげ等 販売
2F●110名の陶芸教室
●電動ロクロコース 絵付け 手ひねり等

セピカ
1F●やきものギャラリー セピカ
月2回 個展開催

◎大駐車場完備
〒479-0832 愛知県常滑市原松町6丁目66番地の1
TEL(0569)35-2209 FAX(0569)34-5745
●年中無休 ●営業時間 AM9:00~PM5:00

中国料理
賀永-KAE

営業時間:11:30~14:00
17:00~22:00
定休日:月曜日(祝日の場合翌日振替)

愛知県常滑市北条1丁目4番地
☎(0569)35-0215

MINI STOP

ミニストップは
「健康・安心・便利」をお届けします。
武豊高校東店
武豊町ヲガケ28-1
☎0569-73-2170

SHARP EPSON Canon
FUJITSU RISO KOKUYO

川上機工(株)東海エリア販売代理店
News Pro システム販売・サポート

有限会社 **フォレスト**

〒462-0041 名古屋市北区浪打町2-101-2
メゾン浪打102
TEL(052)918-8017

快適住まいのリフォーム
Refine とこなめ

松下電工のリファインショップ
TEL(0569)35-7333
常滑市仲井20-3番地

タツ・オザワさんの出版記念パーティを主催して

NHKでも紹介された肖像写真家のタツ・オザワさんから「見た目を9割上げる写真術」の出版を記念して、出版記念セミナーを2009年7月7日の夜に、東京の国際フォーラムで行いますというお知らせが来た。私が早速申し込んだところ、タツさんから「皆さんが出版記念パーティとどうも勘違いをしているよ。なので、出版記念セミナーとは別に出版記念パーティの主催をしていただけませんか？」という依頼の電話があった。もちろんOKしたのだが、問題は会場だ。7月7日と言えば七夕で、早く会場を押さえないとこの会場もいっぱいになるおそれがある。そこで、友人の田村修一さん(商社マン)・齋藤正明さん(会社人生の智慧はすべてマゴロ船で学んだの著者に頼んで出版記念パーティのスタッフになってもらうことにした。さっそく会場探しが始まった。インターネットで検索を掛けてみたところ、東京は銀座駅のすぐ近くに良さそうなパーティ会場を見つけた。それも飲み放題付きで5,000円、1,000名収容のおしゃれなフレンチダイニングだった。

タツ・オザワさんの事務所3人で打ち合わせに行き、他の会場も検索してみたがやはりこの会場が良さそうだった。問題は7月7日が空いているかどうかである。運良く空いていたが、ミニマム(最低保証人数)が50名から結構きついつまみ50名集まらなくても、50名分の料金を払うことが条件になっている。リスクを避けるためとありえず、同じ店の狭いほうの会場(30名収容)のほうを予約した。

打ち合わせが無事終了し、会場の下見(味見)に出かけることになったのだが、タツ・オザワさんが用事があったため、3人で出かけた。初めてお店に行ったのだが、夜のせいもあり地図を手にして、電話で聞いてもなかなかたどり着かない。これは当日の誘導が必ず必要になると思った。

無事、お店について、下見。お店は10Fと9Fの2フロアあり、10Fは100名収容できる広い空間で、天井も高く、床は総大理石、天井にはシャンデリアが眩しいほどだ。

会場は素敵だが、銀座でこの値段で、どんなものが出てくるのか心配で、コースを注文してみた。

高級なレストランで出てくるようなまともな(失礼!)お皿に、出てきたのはフレンチ。味はなかなかいける。これで、実際は飲み放題付きで

5,000円なので、東京の銀座でパーティであればかなり安いほうである。取り敢えず、コースを全部食べてみた。食べ終わってからは9F(下の階)にある、狭い方の個室群を見て回る。悪くはないが10F(上の階)に比べると、かなり天井が低く、圧迫感がある感じがする。でも、こは人数次第なので、予約は30名はいる個室にしたままお店をあとのした。

パーティの告知と集客が始まった。20名くらいからなかなか増えない。タツさんが忙しくて、顧客にお知らせができないからだった。それでも徐々に増え、30名にはなった。ここどうするか決断のときが来た。日本舞踊を踊りたいという人からメールが来てやりとりをする。畳半畳のスペースがあれば、充分とのこと、但し、天井が低くて、9F(下の階)の個室ではちょっと可哀想。もう一つは、幅健一さん(ヤマタミ音響技研の日本法人の社長)が和紙のスピーカーを持ち込んで皆さんに音の良さを披露したいという。

交渉してみたのだが、9F(下の階)の個室では仕切つてあるだけなので、音が漏れるため、和紙のスピーカーの持ち込みができないと言われた。日本舞踊を披露してもらおうのも、天井が低くては可哀想だし、第一、下の階の個室では肝心の和紙のスピーカーの持ち込みができない。そこで、決断しなければならなかった。

よし、50名(ミニマム)の会場(10F)の100名収容に変更しよう。タツさんに電話して、「もし、30名しか集まらないうままだったら、その分のリスクは私が負いますので、100名の会場に変更させていただきます。」と電話でお願した。タツさんは少しびびりたようだったが、「それは申し訳ないので、皆で負担すればいいじゃないですか!」とおっしゃってくださった。だが、私が主催者なので、すべての責任を負う義務があるため、そこは私ひとりでのリスクを負うことで、タツさんのありがたにお申し出を振り切った。それ以降というものは、タツさんが本腰を入れて、お知らせとお誘いのメールを送ってくださり、私も友人・知人初めて逢った方にもお誘いしてどんどん増えていった。最終的には70名近くの人々がタツ・オザワさんの出版記念パーティに参加してくれることになった。

パーティには東洋経済新報社から担当編集者の中村実さんが素敵なお花のアレンジを持って駆けつけてくださった。もちろん、中村実さん



には乾杯の音頭を取っていただいた。スピーカーの中で、「こんなすごい会場で、まさかこんなにたくさんの方がパーティに参加してくださるとは思ってもみませんでした。こんなラフな格好をしてきてすみません!」とおっしゃって実に嬉しそうにしていらした。東洋経済新報社の編集者である中村実さんには他の本プロジェクトでもお世話になっているが、大変嬉しい方だと知っている。その方の本当に嬉しそうなお顔を初めてみた気がする。また、タツさんの古からの友人が壇上で、タツさんからインタビュアーを受けたときに、「タツさんのことは9年前から知っています。あの頃のタツさんは全く食べませんでした。タツさんが(今では)こんな盛大なパーティをひらけるようになったかと思うと感慨無量です!」とおっしゃっていた。私はタツさんのために出版記念パーティを開いたつもりでいたが、実はそうではなかったことに気がついた。

編集者の中村実さん、そして喜んでくれるタツさんのご友人の方、みんなにとって、これはとても嬉しいイベントなのだ。特に編集者にとっては、自分の編集した本は自分の子供のようにかわいはずだ。また自分が編集した本のために開かれるパーティがこんなに盛況で、ひととき感激していたに違いない!

あまり深く考えないで、このタツさんの出版記念パーティを主催した私だったが、予想以上に皆さん喜んでくださって本当によかったと思う。パーティがお開きになり、スタッフだけで近くの店で打ち上げをおこなった。

二宮尊徳が今、熱い! 二宮尊徳(通称「二宮金次郎」) 注目を浴びているわけ

戦後は、戦前の反動でこんなこと!

戦時中、国威発揚のため、二宮尊徳の思想の一部(勤勉・節約のみが強調され軍事教育に利用された)と言われているが、戦後はその反省というか反動もあり、名前を出すこともはばかれる状態が続いた。

●二宮尊徳は実業家
勤勉・節約の面のみが強調されている二宮尊徳だが、実はそれだけでなく、全国の農地の開拓や、藩の立て直しを驚くほどの数を実施した、すごい事業家で、数字を重視し、譲るといふことの大切さを説いた偉人である。

●二宮尊徳の銅像
報徳博物館の館長の話によると、二宮尊徳の銅像は全国の小学校にあるが、これは国が強制して建てさせたものでなく、各小学校が自発的に建てたものなのだとか。

●中国では、とても注目を集めています!
中国では今、逆に二宮尊徳の思想に注目が集まっています。二宮尊徳の思想を研究するために、日本にやってくる留学生もいるとか。

●二宮尊徳記念館と報徳博物館
二宮尊徳記念館は市の運営管理下にあり、それとは別に、報徳博物館(二宮尊徳の博物館)というのがある。場所もかなり離れているのだが、紛ら

福島正伸先生の「究極のコンサルタント養成講座」を受講して

今、福島正伸先生の究極のコンサルタント養成講座を受けている。私は第4期生なのだが、福島先生の話は毎回泣ける。講義なのだが語り部のように、コンサルに行った時の話をされる。福島先生とその受講生つまり私たちが目指すところは、教えなくても、無理にやらせなくても自主的に行動できるクライアントを育てるコンサルタントになることだ。

また、この卒業生はメンターズクラブという同窓組織に入ることができ、ずっと交流を続け、お互いをたすけ、勉強会を継続するというのが、この講座の売りである。

再受講生も凄く多く、卒業(6回で約6ヶ月)しても、また入ってくるという熱心な人がいる。1期から4期まで続けて受講し続けている人もいるのには驚かされる。

福島先生は重要なコンサルの事例は何度も繰り返し話をされるのだが、これが不思議と飽きない、何度聞いても泣ける。これが再受講生が多い理由なのかもしれない。

再受講生はグループになるだけ一人は入れるようにしてあり、何かとフォローしてくれる。私はちなみに、自己紹介に世話好きと書いたためにリーダーに指名されてしまったのだが、私ができるだけ、大変そうなきは、その再受講生の方が代わりにリーダーの役割をやってくれて本当にびっくりした。どちらがリーダーか分からなくなるので、しっかりとしなければと思ったくらいである。

宿題が毎回出るのも結構大変だ。これは各自がリーダーにメールで宿題を送ってきて、それをリーダーが指定のエクセルのファイルに貼り付けて、事務局に送るシステムになっている。

宿題ごとにエクセルのファイルも分かれていて、かつ懇親会の出欠もこれですべてと提案したら、いいことをおっしゃってくださいました、とばかり早速エクセルのファイルを事務局が追加で送ってきた。

今までは宿題を全員がこなすことはなかったようだ。それは各自の事情があったのだろう。ただし、今回からは子供のように、ご褒美がもらえることになったら、初めて48名全員が提出したのだと主催者が喜んでいて!大人になっても褒美には弱いんですね!特に宿題のご褒美には... (笑)。

このご褒美、前回の第一回は福島先生が作った経営用語辞典、今回の第二回は福島先生特製のシールだ。

このご褒美をもらうには難関で、それは、グループ全員が宿題を提出しないと、グループの誰一人としてもらえないという仕組みになっていることである。これは頭が痛いというか、連帯責任だからだ。提出が遅れる人には皆冷や冷やするし、こちらはリーダーなので、何とか、全員が提出することで、出さない人が気まずい思いをしないようにと必死になる。

前回は一人がなかなか出してくれなかったのでも本人から提出がなかったの、なんどもお願いのメールを送り、とりあえずその人を除いて全員の分を出しますよ!ということも伝えた。事務局への提出の時刻には打ち合わせが入っていて、とりまどめができません(最後の一人も提出せず)主催者から携帯に電話が掛かってくる。そういうば〇〇さん提出されていないですよ!と...。

最後の一人の宿題が来なかったの、あきらめて就寝したのを思い出した。

結局遅れながらも、最後の一人が提出したので(他のグループも提出したらしく)全員が一人残らず、宿題のご褒美を受け取れることになった!

宿題の話はこれくらいにして、福島先生の講義というお話は実にいい。コンサルの仕方を教えてくれるのではなく、心のあり方を教えてくれる。コンサルの心構えが、クライアント(お客様)に伝わるので、こちらの心構え、心のあり方を変えなければクライアントは変わらないという話をよく聞かされる。

他で講師養成講座を受けて来たような人もたまに見られるし、とても心の中を聞きにきたはずもないような人も参加しているのだが、福島先生のような方にはあったことがないし、心から感動し、心酔している。別に宗教でも信者でもないのだが、心のあり方をここまで説く、コンサル養成講座は他にはみられないのではないだろうか?一度受けてみたいとは思っていたが、いつかそのうちと思っていた私に「あなたに是非、この講座のムードメーカーになってほしいんです!」とメールで依頼してきた主催者の今井孝さんに心から感謝する。

秋田英滯子

みんなが主役

応援される人になる!(6)

1. 齊藤正明さんの場合

●マグロ船に強制入船!

「会社人生に必要な智慧はすべてマグロ船から学んだ」(毎日コミュニケーションズ刊)の著者である齊藤正明さんは、マグロの鮮度保持剤の研究員だったころ、上司から「マグロの研究のためにマグロ船に乗って来い」と言われ、マグロ船に強制入船させられることになる。恐ろしいほどの断り下手である。

●パリリ!?

齊藤さんは、パリリと呼ばれるほど、断るのが苦手!だそう(泣)飲み会の手伝いを頼まれたりしても決していやと言わないそうだ。

●実は「断らない力」が凄い齊藤さん

齊藤さんに言わせると何と断れないのではなく、断らないのだとか。

●断らない力でチャンスが次から次へと掴んでいった

飲み会の手伝いに行くと、マグロ船に乗った写真を見せていたら、それがライターであり出版プロデューサーをしている山下さすがさんの目に留まり、こんな凄い体験をしているのに何で本を書かないの?と驚かれて、山下さんが出版社に企画を売り込んでくれたことがきっかけで本を出すことになる。山下さんは8社に持ち込んで断られ、ついに9社目にして企画が採用され、日の目を見ることになる。

●自分が弱点と思いきや、こころは実は長所

齊藤さんに言わせると自分がダメだと思っているところは見方を変えるだけで長所になること。もし、断る力が強くても、上司からの命令であってもマグロ船に乗ることを断れたら、本を出すことにもならなかったし、飲み会を手伝うことを断れたら、山下さんに本の企画も立ててもらえなかったからだろう。

●気配りが凄い齊藤さん

実は齊藤さん、断らない力が強いだけでなく、気配り力も強い。気が弱くて優しい性格なので、人の気持ちがよく分かるのである。細かいところまで実によく気がつく。

●齊藤さんが応援される理由

断らない力もあるが、とにかく紹介してもらったりするとき、報告連絡相談がきちんとしていること。誠実で、ひたむきなところが、齊藤さんを何とか応援したいという気持ちにさせるのだ。

●そのままいいと自分を認める強さを持つ

齊藤さんの凄いところは、マグロ船に強制入船させられるという強烈な体験をしながらもそれで、強くなったりしていないところ、精神的にも凄く強くなつて船を下りたわけでもなく、自分は船に乗る前と全く変わらないと豪語する。マグロ船の船長や親方にいろいろ教えられたこともあるのだが、自分は自分のままで充分いいと思っているのだとか。

●次から次と本の依頼が来る理由

齊藤さんは虫が大好きで、自宅は虫だらけらしい。それで、マグロ船の強制入船の体験をつづった本に続き、虫の本を出すことになり、さらに、弱点は長所であるという趣旨の本を出すらしい。

●チーム齊藤正明は最強の4名で構成されている

齊藤正明さんを応援するチームは4名から成っている。齊藤正明さんご本人と、企画を考えたライター兼出版プロデューサーの山下さすがさん、それに編集担当者の大澤さん、最後にチャンス☆コーディネーターの秋田英滯子である。なかか齊藤さんのために必要な情報があると、各自が持ち寄って、メールで全員に情報共有するのだ。1冊の本のために、それも何ヶ月も前に出た本のために、チームがずっと継続し、その著者を応援し続けるというのはあまりない。齊藤さんの人柄によるもの大きいと思われる。

齊藤さんがこれからどんな本を出していること、他の本も応援するつもりだが、チーム齊藤は、マグロ船の本がミリオンセラーになるよう、これを重点的に応援するチームだ。この本がすごいのは、ビジネスマンとしての処世訓を、マグロ船の漁師から学べるという斬新さ、マグロ船の船長や親方が実に深いイイ話や考え方をしていることだ。だからなのか、教科書として採用したいという申し出も来ているそうだ。マグロ船の齊藤さんからはこれからも目が離せない。

2. 野村正樹先生の場合

野村正樹先生といえば、ミステリー作家・ビジネス作家・鉄道作家として、つとに有名である。元はサントリーにお勤めの会社員で、サントリーのミスティー大賞を受賞したときから野村先生の快進撃が始まる。その後、早期退職制度を利用して会社をやめ、作家専業になる選択をする。

●とにかく鉄道好き、半端じゃない

本の取材を野村先生にお願いしたところ、小田急ロマンスカーの中の取材を打診されて、皆で新宿から小田原までツアーをすることになった。こちらが取材をしているというのに、鉄道の車内外の写真を撮りまくり、それは大変な気合いの入りの入りぶりだった。

●たった一度の取材に命を賭ける男

せっかくの取材なので、白いロマンスカー(VSE)の後方展望席で行くことになったのだが、取材に必要なのは6席だけ、残りが必要ないのだが、取材に関係ない人が座ると、取材をしにくいので、さてどうしようということになった。後方展望席は全部で16席で、貸し切ると結構お金が掛かる。そこで、野村先生に、残りの席代が掛かるのでどうしましょうか?とおそろおそろ聞いたところ、「中途半端なことせんでいてくれる?こっちはこれ(取材)に命掛け

とるんやから。最悪、空席分は私が負担する!」と言われ、驚いた。

●取材を受ける側なのに、こちらからの質問への回答がレジュメそれも穴あきクイズになっていて、スタッフやツアーに誘った人全員に配る

さらに驚かされたのは、野村先生は取材を受ける側なのに、こちらからの事前質問書の回答をレジュメで作ってこられ、それも穴あき、クイズになっていたのだ。これを取材スタッフとツアーに参加された野村先生の友人・知人全員に配ってくださったこと。

●気配りが凄い(取材先への菓子折やスタッフへの土産など)

訪ねた報徳博物館(二宮尊徳の博物館)に菓子折を持って行かれたり、取材スタッフのうち、インタビュア近藤さんと取材プロジェクトリーダーの私に、ご著書のおみやげや美味しいお菓子までスーツケースに詰めてお持ち下さった。

●二宮尊徳の博物館(報徳博物館)で館長から特別講義を受けられるように手配

お忙しかつ大変な数字のある報徳博物館の館長から特別講義をしていただけよう、野村先生のほうから手配をしてくださっていた。館長は、二宮尊徳は大変な数字を重視されたことから、二宮尊徳のお話の中では、正確な数字をきちんと出してしっかりとした説明をして下さった。

●徹底的に楽しむ

野村先生は取材をとにかく楽しんでいらした。マスコミの方や、鉄子さん(鉄道が大好きな女子)も呼んで、わずか1時間のロマンスカーツアーを充実させるための好奇心あふれる態度が素晴らしい。白いロマンスカー(VSE)の中では、ガラスのコップ(つまりはグラス)に入ったアイスコーヒーのサービスが受けられることを皆に教えるために、わざわざ、アイスコーヒーを全員分注文してくださった。普通はプラスチックのカップに入った飲み物が普通なので、皆、結構感激して飲んでた。

●どうすれば他の取材と差別化できるかとことん考えて、取材を受ける姿勢が見事!

野村先生は、他の取材場所や取材内容をチェックして、他の取材対象者とは異なる面白い絵になるような取材内容にしようと思われ、考えられた。取材にあつた大変な工夫され、考えられた。取材にあつたのは、ロマンスカーの時刻表(間違えないように降りる駅に印まで付けてあり)や白いロマンスカー(VSE)の詳細や車内の写真他、詳しい企画書まで付けた、もろもろの資料をわざわざプリントアウトして速達で送ってくださった。あまりの細かいご配慮には恐縮至極である。

野村先生とはずっと前からの知り合いだが、今回の取材の件で、野村先生が応援される理由があまりに沢山あることに気がついた。その気配りの細やかさ、溢れんばかりの旺盛な好奇心、たった1回の取材に賭ける意気込みなど、編集者にも読者にも愛される秘訣だらけだった。ちなみに、野村先生のモットーは内容のいい原稿を、締め切りより早く仕上げ、編集者に送ることだとか。実に見習いたいものである。

著者紹介

チャンス☆コーディネーター
秋田英滯子(あきた えみこ)

大学を卒業後、国際法律特許事務所所長弁護士秘書を務める。その後、コンサルティング会社にて、知的財産権担当、社長秘書、経理、NPOの事務局担当等を務める。現在は、作家、ビジネス・縁・プロデューサー、キャリアカウンセラー(伯楽)、図解の技術研修インストラクター、チャンス★コーディネーターとして活躍中。全国に会員がいる教育関係のNPOの事務局長として、精力的に幅広い活動も行っている。著書に「自己啓発のための知的勉強法」日本能率協会マネジメントセンター刊(共著)、小冊子に「一期二会」もう一度逢いたい人になるために、講演録に「講演と新聞・雑誌の取材依頼が殺到!それは1冊の小冊子から始まった」がある。



教養小説

十五夜お月さまよ(上)

愛知淑徳大学教授 堀尾幸平

(一)

ぼくが、ユキオくんに会ったのは、昭和二十九年(一九五四)の夏のことでありました。ユキオくんは、ぼくと同じ小学校四年生くらいでした。なぜ、「くらむ」というと、ユキオくんは、どうも学校に行っていない様子だったのです。

ぼくの住んでいた地方では終戦のどきどきがまだ残っていて、学校も「国民学校」から「小学校」と変わってほどない頃で、そういう子どもがあちこちにいたようでした。

赤いリンゴに、口ひるませ

だまってみている 青い空

リンゴは何にも 言わないけれど

リンゴの気持ちは よくわかる

リンゴかわいいや かわいやリンゴ

(「リンゴの唄」サトウハチロー作詞・万城目正作曲)

町のラジオ屋さんから「リンゴの歌」や「東京キッド」(「ひばりの花売娘」などの歌が明るく流れていました)、人びとの暮らしはまだ貧しく、どこどなく騒々しく落ちつかない空気が漂っていました。

駅の周辺には、闇市らしい露店が立ちならび、野菜や魚介類から、衣類や下駄、マツチ、鍋などの日用品までが、狭い道路いつばいに並べられていました。

そのにぎやかな通りを歩くと、店先に並んだ色とりどりのアメやミカン水、マンジュウなどがいやでも目に入り、スルメを焼く匂いに、人々は頭がくらくなるほどの空腹を覚えました。小遣いのない子どもは、手品のように鶴やウサギができてくるあめ細工や「こんがりときつね色に焼けていくアンマキをつばを飲み込みながら見つめているだけでした。

「ああ、夢でいいから、マンジュウを腹がはちぎれるほどいっぱい食ってみたいなあ」

タツオがあてこするように、大きな声で言いました。が、誰も笑いませんでした。

駅前やその斜め前のお寺の境内には、アコーディオンやハーモニカを吹いて募金をしている人が何人かいました。軍隊から帰還した傷痍軍人で、腕を失くした人や松葉杖の人もいて、道を行く人々から缶の中にお金を入れてもらっていました。

「おい見ろ、こじきだぞ」

口の悪いタツオが言った時、通りかかった見知らぬおばさんに、

「まあ、この子ったら。そんなことを言ったらいかんよ。お国のためにご苦労されたんだから」

と強くたしなめられました。

そんな頃、ぼくたちの田舎町にも、時々アメリカ兵を乗せたジープが、砂ぼこりを立てて通り過ぎて行きました。子どもたちは、ワアとジープの後を追いかけてました。

「ハロー、ハロー。プリティ・ガール」

「アメリカン・ブレイブ・ドワズ」

ジープの上のアメリカ兵たちは、道端の子どもの目をかけて、ガムやチョコを放り投げました。子どもたちはもちろん、大人までもが、キヤアと歓声をあげてわれ先にと競って拾いました。

「英語会話」がNHKラジオで放送されていて、ぼくたちは、テーマソングの「カムカムエブリボデー」という歌を「証誠寺の狸囃子」の曲で覚えて、遊びのあいだによく口ずさみました。

駅裏の路地角にあった、センベイやラムネ、アメ玉、ふうせん等を売る駄菓子屋「新道堂」は、子どもたちのたまり場でした。その店先に、お菓子やメンゴと並んで「英語勉強プリント」という半紙大の小さな新聞のような印刷物が置いてありました。

それにはカタカナの「ブック」と漢字の「本」が並べて印刷されていました。なぜか本物の英語のアルファベット文字「BOOK」はありませんでした。

それは、店番のおじさんが印刷所に頼んで作ったものを売っていたのです。

「新しいプリント、一枚ください」

ぼくは、新道堂で、アメ玉やスルメのかわりに「英語勉強プリント」を一枚ずつ買いました。いつも本を読んでいる店番のおじさんは、ぼくの顔を見るとここにこしながら「小学生なのに感心だね」と言いつつ、まだインクの匂いのするプリントを手渡ししてくれました。

おじさんは、プリントをぼくに渡すときに「ほかの子には内緒だよ」と目で合図をして、時々、おまけの

お菓子をポケットの中に入れてくれることがありました。

ずっと後で分かったことですが、そのおじさんは、教頭先生をしているぼくの父の教え子で、その頃、生懸命に小説を書いているというのでした。

「こういちくん、しっかり勉強しておくんだよ。きみは、将来、立派な人間になると思う。がんばってね」

父とそっくりの口調で言ったおじさんのやさしい言葉は、ぼくは、その後、ずっと覚えていました。

ある日、新道堂に行くとその日の店番は年配のおばさんでした。

「こういちくん、こつこつ入って来なさい」

店の奥から、おじさんの声が呼びました。

「ごちやごちやした部屋の真中に蒲団を敷いて、おじさんは寝ていました。病気が重いんだな、と、ぼくは直感しました。」

「こういちくんは、感心だ。小学生にしては実にしっかりしている」

おじさんは、立っているぼくの頭から足の先までをじっと見ながら、何度もうなずきました。

「Boys be ambitious. こういちくん、ambitious. 分かるね。」

「Oh! Yes!」

ぼくは大きく口を開けて、はつきりと答えました。

「Oh! すてきな、こういちくんは、まだ、小学校四年生なのに、ambitious. が分かるんだ。すてきよ!」

おじさんは、感動のあまりにぼくの手を握り締めました。それからぼくの顔をじっと見て言いました。

「Boys be ambitious. こういちくん、ambitious. ambitious. 人生は ambitious. だよ。こういちくんは頭がいいし、真面目だから、大きくなったら、きっと立派な人間になれると思う」

「おじさん、立派な人間ってどういう人間ですか」

「それは、つまり立派な仕事ができることだ。それに大きな愛を多くの人々に与えることができる人間だと思っ。こういちくん、分かる?」

「Oh! Yes!」

ぼくが大きな声で言うと、おじさんは、また、うれしそうに笑いました。

その日のおじさんの話は、それだけでした。そして帰る時、机の引き出しからピカピカ光る万年筆を出してぼくにくれました。

「小学生には早いかも知れないが、大きくなったら使ってみよう」

「でも、こんな大事なものを、おじさんは?」

「おじさんは、もういいんだ。さあ、こういちくん、がんばってね」

「おじさん、ありがとうございます」

ぼくは、大きく頭を下げてピカピカの万年筆をポケットにしまいました。

それから一か月ほど経って、おじさんが亡くなったことを聞きました。二十六歳。死因は結核ということでした。

(二)

闇市が開かれている駅裏のお寺の境内で、午後になると「紙芝居」がやってきました。楠の木の下の、ハゲ頭のおじさんが自転車の荷台に大きな紙芝居の舞台ケースを据えて、熱演するのです。お金を払うと切符のかわりにアメ玉を一個渡され、それをなめながら観るのです。

「黄金バット」や「鐘の鳴る丘」など、子ども向けに作られたもので、おじさんのオーバーな語りにワクワク・ドキドキしながら、みんな夢中になりました。大抵は連続物で、いつも面白いところになると終わってしまう。次回が楽しみでなりません。

時々、小遣いのない子が、楠の太木に登って、こっそりとタダで見ました。

ハゲおじさんは、タダを見つけると怒って、紙芝居や見物の子どもたちをぼつぼつと追いかけていくこともありました。

その、ハゲおじさんの紙芝居が行われている奥の方でヤキイモを売っている少年がいました。みかん箱の上に新聞紙を広げて、五、六個のヤキイモを並べているのです。いがり頭の少年は一言もしゃべることなく、商品のイモばかりを見つめていました。

その頃は食べ物も乏しく、飢えていた子どもたちにとってこのヤキイモの放つ匂いは、何ともいえないほどおいしいものでした。

タツオが、「匂いだけはタダだから、遠慮はいらんぞ」と大きな声で言ったのを、少年が鋭い目でにらみつけていたことをぼくははつきり覚えていました。

当時のみんなの服装はひどく粗末なものでしたが、とりわけ、イモ売り少年の服はツギハギだらけの国防色(戦時中の陸軍軍服のカーキ色)で、すり減った下駄は大きさが左右違っていました。

少年はいつもうつむいていて、行人の顔など見えてはいませんでしたし、ぼくも見てはいけなような気がして彼の顔を見ることはしませんでした。

ところが、ある日、少年がぼくを呼び止めたのです。「おい、その野球帽のヤツ!」

ぼくは、その日、白い野球帽をかぶっていました。「なに?」

ぼくはびつくりして彼の顔を見ました。「これ、おまえにやるよ」

少年は、そう言う商品ヤキイモをぼくの前に差し出しました。

ヤキイモはプーンとおいしそうな匂いを放っています。

とたんに、お腹の虫がグーッと鳴きました。「やるから食べよ」

少年は、さつぷらぼうに言うと、自分もイモを食べ始めました。

ぼくは、照れくさいのも忘れて「ありがと」と言う、すばやくヤキイモをほおばりました。ぼくはくして香ばしい匂いに負けない甘い味が口いっぱい広がりました。

「うわあ、うまい!ほんとにうまいわえ!」

「うまいだろ?」

ぼくたちは顔を見合わせて笑い、食べてはまた笑い合いました。

これが、ユキオくんとはぼくとの出会いでした。

あの時、ユキオくんがどうして見ず知らずのぼくに、貴重な商品のヤキイモをタダでくれたのか、ぼくには分かりませんでした。それからずっと後になって、ぼくはそのことをユキオくんに聞いてみました。

「友情のシルシだよ」

ユキオくんは、照れくさそうにぼつと言いました。そう。短かったが、真剣なぼくたちの「友情」は、あのヤキイモから始まったのです。

ぼくとユキオくんは、町の東部を流れる二級河川・森下川で、ひんぱんに会うようになりました。

森下川の上流には、大きなセキがあつて、そのコンクリート部分がちょうど机や椅子のような形になっていました。

「こは、読書をしたり、絵が描けるから、ぼくの最高の勉強部屋なんだ」

「勉強なら家のほうがいいじゃないか?」

「家はだめだ。この方が落ちつけるからいい。こういち、これからこのセキで会おう!」

ユキオくんの強い言葉にききずられて、ぼくはうなずきましたが、少し困った、と思いました。

なぜなら、大人たちからは森下川へは行つてはいけない。特に川下の方へはたとえ魚つりでも行つては

けないと止められていたからです。どうして行つてはいけないのか、幼い頃はわかりませんでした。が、昨年の夏、つまり三年生の時、ぼくは大きな光景を見ました。

その日、ぼくは、母親に頼まれて川向こうの農協へ、外食券と交換するアンパンをもらいにきました。その帰り道、森下川の堤防を、つだけ食べることを許されたパンを口にしながら、歩いていました。

川原は広く、所々に大小の雑木や草木が生い茂っていました。夏の夕ぐれは、涼しい風が吹き、草木や月見草がさわやかに揺れていました。

その時、ぼくは何かの動く気配に、川原の茂みの中を見つめたのです。もともと、子どものぼくには初めは何のことかわかりませんでした。

が、よく見ると、男の人と下着姿の女の人とがからみ合い、ケンカ(?)をしているようでした。しかも女の人は泣いていました。

ぼくは、その頃、女の人をいじめたり、泣かせたりする人間は、最低で一番悪いやつだと思つていました。

ぼくは、川原の茂みに向かって大声で叫びました。「女の人をいじめちゃだめだ!やめてください!」

ぼくの声に、二人の大人は(たしか二人だと思いましたが)あわてて衣類を持って茂みの奥消えました。

「ほかやろう!ガキは向こうへ行つてろ!」

男の人は、怒鳴つてぼくをにらみつけました。ぼくはびつくりと恐ろしく変な気持ちになって、その場を一目散に走り去りました。

このことをぼくは、両親にも大人にもだれにも話しませんでした。

「これから、このセキで会おうよ」

ぼくは、この森下川のコンクリートセキが、あのいやな変な川原から遠く離れたいたので、安心しました。

「そつちやう。こがいに」

こうして、ぼくたちは男同士の付き合いが始まったのです。

(つづく)

〈教養小説〉

(Bildungsroman 独) 主人公の人格の形成・発展を中心とする小説。ドイツ文学の主流の一つ。(広辞苑六版)



(愛知淑徳大学文学部教授)



投餅・帯餅・誕生餅
赤飯(おこわ):その他餅菓子
お餅とお菓子の店

井桁屋栄町店

有限会社 オンゾ
常滑市栄町6-92
☎(0569)35-4178
FAX(0569)34-9240

あなたの夢のお手伝い
新築・リフォーム

株式会社 水建

常滑市原松町二丁目10番地
TEL(0569)35-4804
FAX(0569)34-8915

無料バス送迎
いたします

たに川

大小宴会承ります

食楽 たに川 本店 TEL 0569-35-4814
食楽 たに川 散歩道店 TEL 0569-34-8105
たに川もつ屋 常滑駅前店 TEL 0569-34-3125
たに川もつ屋 武豊店 TEL 0569-73-0574
やきとり二八屋 TEL 0569-35-3810

(日曜日定休日)
●土曜日●
4時より
売りつくし

ハタマート 樽水店

愛知県常滑市樽水町3丁目291番地
TEL(0569)35-2170

かじ屋

常滑市塩田町三丁目一番地
☎(0569)35-2398
定休日 水曜

SATELLITE SHOP 常滑
常滑市西阿野字桐畑152-4

久田自動車株式会社

TEL 34-6555
MITSUBISHI MOTORS

総合インテリアサービス
ビルメンテナンス・インテリア販売

MS 明光

有限会社

常滑市新開町2-40
TEL(0569)34-6565(代)

おしゃれな装い
おしゃれなお店で...
お気軽にどうぞ!
婦人服

店内
50%~20%
OFF

空 奈津子

常滑市鯉江本町名鉄駅ビル2F
☎(0569)34-8823

(株)ジャパンエナジー特約店
らいぶりい樽水S.S

山善石油店

常滑市井戸田町3丁目37
電話35-4742

●愛知県学校給食めん指定工場
●武豊町名産認定品

大柳屋製麺所

武豊町字里中179
TEL(0569)72-0329
FAX(0569)73-6435
種類各種地方発送承ります。

●営業時間●
AM11:00~PM10:00
木曜休み
武豊町字向陽4-40

寿司、和食、
宴会承ります
サウシヨシミ

☎0120-08-0094
☎(0569)72-0094

927 テレビ

常滑市山方町1丁目118番地
☎(0569)34-2108

平野商会

常滑市保示3丁目41番地
TEL35-5330

御菓子司 松月堂

常滑市市場町3-35
本店 35-4153

喜代八商店

常滑市字社辺7-1 電話(0569)34-4147

御料理・仕出し
割子・うなぎ

魚豊

常滑市樽水町三丁目222番地
(店)☎35-2395・FAX35-2472
(自宅)☎34-6381

酒の
米利

お盆休みのお知らせ
8月13日・14日・15日は
お休みさせていただきます。
16日は日曜日なので、お休みさせていただきます。

☎72-0156

サンタ・ママズ・カフェ

知多郡武豊町梨子ノ木3丁目37-1
TEL0569-73-6180

営業時間 平日8:30~17:00
土・日8:30~17:00
モーニング オープン~13:00
(定休日なし)

AQUAS

安心で安全、
それでおいしいお水

1本 1,050円
1ボトル11.3L

サーバー
レンタル
無料

株式会社 アクアス

知多郡阿久比町大字草木字上外六3-1
TEL(0569)47-1913

葬儀専用ホール

常滑・青海 瑞雲殿

誠意と真心であんしんのかけはし

CSK葬祭

0121-33-5909
TEL 0569-35-2785
FAX 0569-35-2296
24時間体制完備

各種二輪車・自転車
販売修理
認証工場

ハルオモーターズ

竹内正廣

常滑市北条3丁目114番地
TEL(0569)35-2718

あなたの健康・元気をサポート

もみじ屋

(株)もみじ屋デリバリーサービス

〒475-0833 半田市花園町6丁目25番地の1
TEL(0569)23-2444
FAX(0569)23-2479

好評発売中

常滑銘菓
アマンド

手作りワッフル
好評発売中!!

手造りケーキ・パン

Bon Veiller

ボンベルルマルセイ
TEL&FAX
0569(35)3154

常滑市水道指定工事店
常滑市下水道指定工事店
住宅機器販売施工

(有)三洋設備工業

(店) 常滑市乙田33-10
☎(0569)34-3845
FAX 34-5809

健康生活 はじめませんか

明治牛乳宅配センター

ミルクッチ壱番屋

常滑市新開町2丁目114番地
TEL0569-36-3691

Men's & Lady's

Tsutaya

CASTELBAJAC
+ 2 NATURE

半田市天王町1-5-2
TEL0569-21-8222
定休日/水曜日
AM10:00~PM7:30

電気工事一般
中部電力指定サービス店

有限会社 幾世電気

常滑市塩田町3丁目95番地
TEL(0569)35-4857



新聞って、
水道・ガス・電気次ぐ
4つ目のライフラインだと思う。

思わず出掛けたくなくなるような晴れた日でも、
会社や学校に行くのが憂うつになりそうな雨の日でも、
気持ちよく新聞や広告を読んでほしいから。
私たちプレッシオは新聞・広告業界を広くお手伝いします。

Pressio

株式会社 プレッシオ

プレッシオ 検索 <http://www.pressio.co.jp>

〈新聞販売店様向け 省力化機器の製造・販売〉
株式会社 プレッシオ
本社：東京/TEL03-5479-5520・名古屋/TEL052-979-8533
支店：東京・東海・大阪・九州
営業所：札幌・東北・福島・栃木・茨城・埼玉・千葉・神奈川・静岡
北陸・福井・京都・神戸・四国・北九州・大分・熊本

MORIMASAの注文住宅

相談・見積り無料・・・お気軽にお問い合わせください。



きわみ きわみ会員募集中

自分らしく暮らすためのライフスタイル情報や、住まいに役立つ知恵、ショップ&レストランの割引、森政の見学会情報・見学会来場ポイント特典などなど、盛りだくさんの会報誌「きわみ」会員募集中です!!

入会は簡単

下記の用紙を記入し、FAX(0569)34-9766へ送信。
または、切り取ってはがきに貼るか封筒に入れて郵送してください。宛先は〒479-0043 常滑市字古社20-7 (有)森政「きわみ会員募集係」後日、弊社より会員証をお届けさせていただきます際に「同額切手同封」にて郵送料を負担させていただきます。

フリガナ		男・女
お名前		
ご住所	〒 -	ご家族数 人
TEL	() -	
ご職業		

現在、新築・リフォームをご検討中ですか?
はい ・ いいえ

森政直売 家具工房



オーダー家具。
一枚板テーブルなど
ご注文承ります。

事業主・販売 ●愛知県知事免許(3)第17560号
●建築業免許愛知県知事(特)第63175号
●(社)愛知県不動産取引業協会会員
土地・建物をTo Your Hand
morimasa 株式会社 森政
〒479-0043 愛知県常滑市字古社20番地の7
0569-35-0303 営業時間 AM9:00~PM6:00
<http://www.morimasa.jp>

誠意と真心で・・・あんしんのかげはし

葬儀のすべてをお引き受け致します

24時間体制完備

CSK葬祭

0120-33-5909

常滑市 あいち知多農協・冠婚葬祭友の会指定特約店

青海 瑞雲殿
TEL.0569-44-2234(直通)
常滑市青海町1丁目1番地(国道155号線沿い)
100台駐車可能の大駐車場完備

常滑 瑞雲殿 [本社]
TEL.0569-35-2785(代表)
常滑市北条1丁目34番地
200台駐車可能の大駐車場完備

資産運用に投資信託という選択肢

少額資金から投資ができる

分散投資ができる

専門家が運用してくれる

個人での投資が難しい金融商品に投資できる

お客様のニーズに合う商品を取り揃えていますので
お気軽にお問い合わせ下さい。

◎投資にあたっての留意点(必ずお読み下さい)

お申込みにあたっては、それぞれのファンド(投資信託)の契約締結前交付書面(投資信託説明書(目論見書)及び補完書面)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

投資信託は、主に国内外の株式や債券、その他有価証券等を投資対象としますので、組入る有価証券等の価格の下落(価格変動リスク)や組入る有価証券等の発行会社の倒産や財務の悪化(信用リスク)、また外貨建資産に投資する場合には為替の変動(為替リスク)、その他ファンド特有のリスク等の影響により、基準価額が下落し損失を被ることがあります。これらの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。したがって、投資元本を割り込むこともあり、投資元本は保証されるものではありません。

投資信託を取得する際には、販売手数料、信託報酬、組入る有価証券の売買及び保管ならびに信託事務に係る諸費用、監査費用、信託財産留保額、解約手数料等を直接又は間接的にご負担いただくことがあります。これらの手数料や諸経費等はファンドによって異なります。詳細は、各ファンドの契約締結前交付書面(投資信託説明書(目論見書)及び補完書面)をご確認ください。

広告審査番号 MN-090709-56

アーク証券 株式会社
<http://www.ark-sec.co.jp>

コールセンター 0120-005407 TEL 052-232-2531(代)

商号等：アーク証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1号 日本証券業協会加入

知多の動植物雑記(二五二)

原 穰

今年の六月下旬頃、東浦中央部の丘陵地林縁を歩いていた時、ふと目にしたセイタカアワダチソウの先の方に何か茶色のもの。

何かナとつまんで見ればカミキリムシだ！(写真左)大きさは三センチほど、体の色は薄茶色。上翅の表面に



初見の虫と初体験「力」の標本

五月二十三日、東海市の船島小学校で、虫や魚は何が捕れる

遺跡

町の考古学

弥生時代(百四十二)

奥川 弘成

知多半島で丘陵頂上など生活拠点を高所に構えたのは縄文時代早期後葉の遺跡が初めてです。それから五千年近くを経て再び弥生時代後期に集落がつくられました。そして、今日の内陸部の開発がすすむまでは、丘陵の頂上付近に組織だった集落遺跡を見ることはありません。



中田遺跡(白部分)の周辺地形

高所性遺跡は海岸平地を見下ろす谷あいの丘陵地に立地しています。人を拒むほどの山深いところにあるわけではあります。

高所性遺跡は「生活するには不便な標高三千前後以上の丘陵上に築かれた遺跡」と考え、中でも深い堀のような溝、環濠で囲んだ遺跡を高所性集落と解説しています。

高所性集落については、中国の歴史書「魏志」の「東夷伝」に「二世紀後半ごろに「倭国大いに乱る」とした倭国大乱にあわせての山城としての防衛防壁の拠点であったとする考えがあります。また、海上を見張る見晴台や焼き畑などの畑作を主とする集落であった

とも考えられています。この考えをもとに知多半島の高所性遺跡を歩くと、山にこもる集落であったというよりも生産性のある谷間の土地とかかわりがあるように思えてきます。

遺跡のある谷間には、海岸平野のように海水の影響を受けることのない潤沢な水源に支えられた農地があります。その生産性は高所性遺跡の集落を支えるには十分な収穫を得ていたと考えられます。武豊町中田遺跡のある谷間は、地域でも自慢の水耕農地で、水に困ることのない湧き出し水が各所にありました。現在は、工業団地となりその原風景はなくなり、発掘調査中は、弥生時代の遺跡から田をながめると、ここに暮らすことのできませんでした。

新聞に売り出しちらし半夏生何もない部屋が一番涼しくて一匹の虫を目で追う夕陽居都心にも轟く滝や徳川園コースの口々滝にさくらんぼ粗塩の高炉に置かれいよよ夏粗涼や男も化粧する時代の噴水のしぶき華やぐり時代の底下駄のみな出たら立屋祭り流しにまき込まれたり立屋祭り神妙に始まるに増え梅雨続く水郷の両岸飾る七変化児童らに田舎一枚任せをく溜息の暮切れのなき海暑かな紫陽花の午後の化粧を濃くしつつ梅雨晴間草に追われて農作業悪しきこと住きこともなく六月月天守より潮の目たしか夏来るみちのく風鈴が鳴る月見草中元や留守番犬に伝言すアルプスの頭出したる梅雨晴間浮き草の瓶の隙間を埋めけりけり保育園迎えるの母の黒日傘蓮の葉の裏返りては風さそふ太宰忌や帯も新たな文庫本梅雨晴間や屋根より日射し撥ねてとふ庭の角栗竹桃がゆれて頼みごと七々に願いを込めて頼みごと大潮にえさ振りに行くかいかかなむくげ咲く一日花のあわれさよわしがれの前の川では蜚蜚ふ七々に願いはひとつ健康かす雷光や日露の兵の神を浮かす七色に輝く梅雨玉晴間かなかえる鳴く夜半のしじま夜気破る

あいち臨空新エネルギー実証研究エリア わくわくワークショップ〜エネルギーってふしぎだね〜 8月8日「備長炭で音をならそう〜元祖燃料電池」

ワークショップの参加者募集 開催日:平成21年8月8日(土) 時間:1回目/11時30分〜12時15分 2回目/13時〜13時45分 3回目/16時〜16時45分

かな?の事前調査をやった時に発見した。発見者は勿論、いつも私が虫の名前を聞いている平松俊彦氏。

昭和時代に建てられた風情ある木造が、斉田さんの工房だ。ビワの木や田んぼがあるどかな田園風景の中、夏の日差しを受けて1時間に数本の電車が

喜びをたくさんの人に届けたい思いで作陶している。個展は年に一回ペースを開いている。趣味は、そば打ち。

三歩窯の工房内 工務2階にて展示販売、陶芸体験できます 体験内容:タタラ作り、手捻り 料金3,000円

若竹俳壇 毎月十日集まるに葉書で 発行所へ

吉田ひろし 片岡光子 青内文代 谷内志江 加藤浩美 関根久美 曾我部和夫 岩田つとむ 久田篤 磯村八千代 磯村美穂 磯村美穂 磯村美穂

定員 各二十五名 参加費 二百円 (材料費込) 〇半田市の料理 特別メニューの星屋を見よう! 〇半田市の料理 特別メニューの星屋を見よう!

〇武豊町総合体育館 〇武豊町総合体育館 〇武豊町総合体育館

〇武豊町総合体育館 〇武豊町総合体育館 〇武豊町総合体育館

鯉江良二 Made in Australia 常滑出身で世界的に活躍されている鯉江良二氏。今展では2006年から2007年にオーストラリアにて制作された日本未発表の作品約100余点を展覧即売いたします。

角有伊と角漆工房展 今展では2005年秋に惜しくも他界された故角漆三郎先生の意志を受け継いだ角有伊氏のオリジナル作品と、合鹿庵をはじめとする様々な角工房の作品も展覧即売いたします。

名鉄百貨店本店[本館] 10階アートギャラリー I 名鉄百貨店

